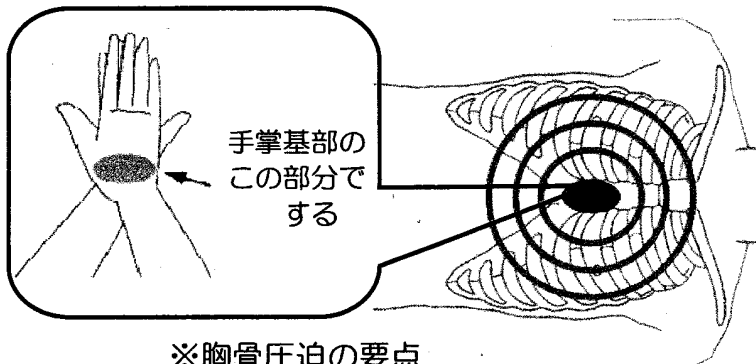
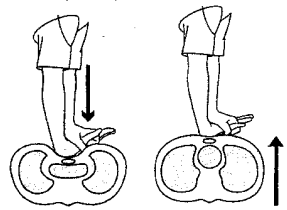


【5】胸骨圧迫

胸骨圧迫 ☞ “1,2,3,4,5,・・・
・・・28,29,30”



※胸骨圧迫の要点

- 1 傷病者の顔をハンカチ等で覆いエアロゾルの飛散を防止する
- 2 胸骨の下半分を押す（胸の真ん中が目安）
- 3 深さ（胸が約5cm沈むまで）
- 4 速さ（1分間に100～120回のテンポで）
- 5 30回連続で押す（胸骨圧迫の中断は最小に）
- 6 圧迫の十分な解除
- 7 手が胸から離れないように圧迫をゆるめた時胸を元の高さまで戻す
- 8 救助者が複数いれば1～2分おきに交代する

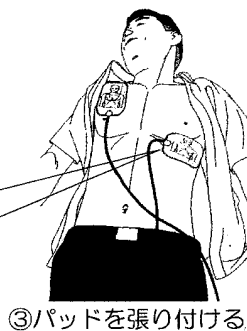
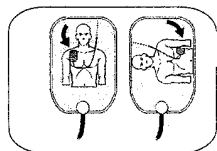
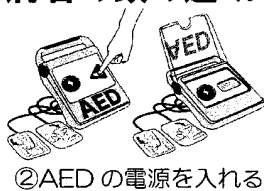
【6】人工呼吸（子供の場合のみ）※新型コロナウイルス流行している状況では、成人に対しての人工呼吸は実施しない！



※人工呼吸の要点

1. 約1秒間かけて吹き込む
2. 胸が少し上がるのが見えるまで吹き込む
3. 吹き込みは入らなくても2回まで

【7】AEDが到着すれば、傷病者の頭の近くに置き電源を入れ、音声メッセージに従い操作



※AEDの要点

1. 乳児から使用可能（乳児とは、1歳未満をいう）
2. 小児用パッド、小児用モードの適応年齢は乳児を含め小学生未満（小学生以上は成人用を使用）
3. パッド装着時の留意点
 - ・濡れている場合、パッドを貼り付ける部分の水分を拭き取る
 - ・貼り薬がある場合、剥がした後、残った薬剤を拭き取りパッドを貼る
 - ・医療器具が胸に埋め込まれている場合、埋め込まれている箇所をさけてパッドを貼る

【8】救急隊に引き継ぐまで、または傷病者に普段どおりの呼吸や目的のある動きが認められるまで心肺蘇生法を続ける※AEDは呼吸等が戻っても外さない

【9】心肺蘇生後は速やかに手と顔を洗い、使用したハンカチ等は廃棄する